



家庭通信 5月号

2024年4月30日

学校法人 織田学園

おだ認定こども園

毎月の家庭通信・献立・保健だより等もHPでご確認いただけます

新緑の美しい季節になりました。新しい生活が始まり1か月ほどが経とうとしています。4月当初は泣き声が響き渡っていた園内でしたが、最近は笑顔で園生活できるお子さんが増えてきています。

保護者の方々も、お子様の新しい生活の第一歩をわが事のようにハラハラドキドキしながら過ごされていた事と、お察しいたします。

この間は大人も子どもも新しい環境に慣れることに一生懸命でしたので、大型連休中はご家族それぞれ健康管理や怪我には十分気を付けて、楽しいお休みをお過ごしください。

さて、おだ認定こども園では40年以上前から「わんぱく保育」を始めています。TVゲームの流行とほぼ同じころから現れた『けがをしやすい』『遊びに誘っても長続きしない』等子どもの生活に変化が起こり、このままでは、幼児期の子どもたちが主体的に様々な体験を通して学ぶ機会が少なくなり、この時期にしか学ぶことが出来ないことがおざなりになってしまうのではないかと危惧し、おもちゃに遊んでもらうよりたくさんのお友だちと遊ぶ場を提供しよう、とにかく汗をかく爽快感をたっぷり知らせていきたい、『遊べる子』を目指して、泥んこ遊び、公園や山への散歩、体力作り等々子どもたちが意欲的に取り組める内容を考えて、一緒に楽しんでいきました。今年も年中組のわんぱく保育が7日（火）から始まって保育時間が長くなります。『進級児は慣れているからもっと早く』というご意見もございますが、5月は『張り切りすぎている4月』の疲れが出たり、急激な気温の変化に、身体がついていかなかったりしがちです。子どもたちの発達に無理のないリズムを大事にしながら、ゆっくり『たくましい心身』を育てていくことにご協力ください。

5月のねらい

<年長組>

- 様々な自然に関わり、遊びに取り入れたり、世話をしたりする中で、興味関心を深める。
- 友達と一緒に遊ぶ中で、自分の思いや考えを言葉で伝え、相手の話を聞こうとする。
- 作りたい物ややりたい事にむかって自分たちなりにとりくもうとする。
- 身体を動かして遊ぶことを楽しみ、解放感を味わう。

<年中組>

- 園での生活の仕方が分かり、自分でできることを進んで行おうとする。
- 様々な遊びに興味を持ち、自分のやりたい遊びを見つけて遊ぶことを楽しむ。
- 保育者や友達と一緒に戸外でからだを動かして遊ぶことを楽しむ。
- 戸外で身近な春の自然に触れたり関わったりして遊ぶ。

<年少組>

- 保育者との触れ合いを通して安心して過ごす。
- 好きな遊びを見つけて遊ぼうとする。
- 戸外で遊ぶ心地よさを感じる。
- 身近な春の自然に触れ、親しむ。

<2歳児>

- 保育者に自分の思いや気持ちを簡単な言葉で伝えようとする。
- 身近な虫や草花に興味を持ち、見たり触れたりすることを楽しむ。
- 戸外で保育者と一緒に身体を動かすことを楽しむ。

<1歳児><0歳児>

0.1歳児は個別のねらいを立てています。